

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価 事業部
--------------------------

② 施設・事業所情報

名称：かつら愛児園	種別：認可保育園
代表者氏名：原田 則子	定員（利用人数）： 200 名
所在地：〒247-0014 横浜市栄区公田町484	
TEL：045-892-3711	ホームページ：http://www.katsura-aijienn.com
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和29年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：宗教法人 永林寺	
職員数	常勤職員： 21 名 非常勤職員： 18 名
専門職員	保育士： 35 名 バス運転士： 3 名
	： 名
施設・設備の概要	（居室数）5 （設備等） 送迎用バス 2両
	ランチルーム、ホール(遊戯室)、小ホール

③ 理念・基本方針

【保育理念】
<ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもは遊ぶことが仕事である」という創立者の理念のもと、遊び、楽しむ、好きから導き、園でのさまざまな活動を通し、人としての基本を身につけます。</li><li>・子どもの人権、主体性、その最善の幸福を尊重します。</li><li>・「何でも一生懸命できる子」を育てます。</li><li>・やさしい心を育てます。</li></ul>
【保育方針】
<ul style="list-style-type: none"><li>・すべての子どもへの平等を第一とする。</li><li>・挨拶ができる、人の話を聞けるようにする。</li><li>・健康と安全を基本に心身共に自己を発揮でき、懸命に生きることを学ぶ。</li><li>・豊かな人間性、思いやりを育む保育。</li></ul>

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【施設の概要・立地】
かつら愛児園は、宗教法人永林寺が昭和28年創立した、横浜市栄区における最初の公認保育園です。JR京浜東北線本郷台駅から徒歩10分、鎌倉街道の公田バス停から2分ほど住宅地に入った、自然豊かな緑の多い10,000平方メートルを超える広いお寺の敷地内にあります。現在、1歳から5歳まで188名の子どもが在園しています。

### 【特色ある保育】

無限の可能性をもつ幼児期にたくさんの体験を通じて一つのことに取り組み、やりとげる喜びを体得します。一生懸命やることの大切さを知ります。

園歌をはじめ、園長が作詞、作曲したたくさんの歌に親しみ、情緒面を豊かにすることを目指します。鎌倉芸術館で行う音楽会、学芸会や、毎月の定期音楽会で発表しています。

静かに人の話を聞くことを大切に、静かに心を見つめ、精神統一、集中をする練習をします。

子ども達への目標を示すうえで1学期、2学期、3学期ということばを使っています。

- 音楽教育（2歳よりピアノ、3歳よりハーモニカ）、国際的に活躍する演奏家のピアノ演奏会があります。
- 英語教育（全園児）、5歳児の英会話レッスン、暗誦。
- 水泳教室、空手、サッカープログラム（4、5歳児）、体育遊び。
- 子ども菜園で野菜を育て、収穫して食べる体験をしています。
- 花祭り、ねはんえなど仏教行事で命の大切さを学んでいます。お寺の本堂で静かにする時間を持っています。
- 園バス、園服があります。
- 一時保育を受け入れ、園庭開放（毎週火曜日）を行っています。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年10月15日（契約日）～ 2020年8月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（2008年度）

### ⑥総評

◇特に評価の高い点

#### 1. 地域に根差した保育園

お寺の運営する保育園として、長く地域に親しまれている保育園です。お寺で行われる歌の会や、仏教行事、給食試食会、鎌倉芸術館で行われる音楽会に来られる地域の方と子どもたちは交流しています。近隣の小規模保育園、小・中・高校と連携し、交流保育や職業体験を受け入れています。毎週火曜日の園庭開放や、7、8月にはプールを開放し、地域の育児サークルに昼食時の場所を提供するなどしています。

また、栄区民まつりや地域の防災訓練に積極的に参加したり、毎年小学6年生までの卒園児を招いてカレーパーティーを催すなど、地域で育つ子どもを意識した取り組みが多く見られます。

#### 2. 他者と力を合わせたり、自信をもって表現する体験

音楽プログラムを始め運動や英語など、学期ごとに目標を立てて取り組む活動と発表の機会を多く持ち、子どもたちは他者と心を合わせ、やり遂げる体験をしています。

◇改善を求められる点

#### 1. 子どもの主体性を育む保育を

様々な体験ができるプログラムがあるなか、子どもの数が多いので、生活の場面転換で一斉に誘導されることが多く、環境も子どもが自由にあそびを選べる環境になっていません。園として保育所保育指針改定時の研修を行っていませんので、全員で指

針を学び、子どもの主体性を尊重する保育について考えを深めることが期待されます。

## 2. 全職員で進捗を確認しながらの園運営

園運営に関する中長期計画が明文化されておらず、それを実現させるための事業計画がありません。園長主導で園舎の耐震工事など必要な事業は行われていますが、職員は計画立案には参加していません。また、園全体の自己評価も園長が行い、職員とともに検討されていません。職員参加のもと計画を立てて進捗を確認し、必要な変更をしながら次期の計画に反映させるPDCAサイクルに沿った園運営と、職員が主体的に園運営に関わるしくみづくりが期待されます。

## 3. 人材育成計画の策定

職員の自己評価など、各自が振り返る仕組みはありますが、経験ごとに期待される職員像、それを実現するための研修計画を含む育成計画、またそれに基づく考課基準がありません。職員が自己のキャリアに見通しを持ち、意欲的に取り組める仕組みづくりが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価は、お話が進んでからいろいろな困難がおき、園訪問をして頂く時期にはコロナ感染が心配になる等、大変な中での受審でしたが、行うことができ、とてもよかったと思えました。

職員の皆さんも自己評価等で振り返ることにより、今おきている問題の解決にはどうしたらよいか等を考えることができたのでは、と思います。

この第三者評価と並行して、園ではコロナ対策としてオゾン発生機、オゾン水を各教室、水のみ場に設置し少しでも安心して子どもたちがすごせるよう、又不安な保護者の方の小さな安心となるよう致しました。

評価結果において、改善点として指摘頂いたものに園の行事、計画、工事等にもっと職員の方の意見等が反映されることが望ましいという項目がありましたが、私、園長としましてはそれらは私、園長の責任と考えのもと何より迅速に決断し行わなければならないことが大半ですので、やはり皆さんには事後報告となるであろう、と思えました。

又行事等についても、当園は宗教法人で運営する私立の保育園ですので、創立以来思いやりのある心豊かな人になってほしい、という思いをこめた音楽教育は園の保育方針としてメインに説明し、それらは年間行事の柱となる伝統行事となっています。しかしすべてを受け入れ個人を尊重するというもう一つの園の理念により、職員の方の得意分野、やってみたい事等は必ず取り入れ、やりがいのあるお仕事をさせて頂いていることと思います。その辺の園の特色や理念を利用者の方や第三者評価の方々にもっとよくわかって頂ける工夫が必要である、ということが今回の反省点として検討したい点です。

コロナ自粛期間中も100名近いお子さんが元気に通ってきてくれました。新しい危機を受け入れながら細心の注意をはらい、皆さんのお役にたてる工夫をつづけていきたいと思えます。

2020年8月20日 かつら愛児園 原田 則子

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり